https://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Learn ja/ITA-online-install ja.pdf 3.11 環境構築(7/7)のライブラリ概要<Mariadb、Ansible>以外に含まれているもの

※ 設定・備考にあるパージョン(x.x.x)は、インストールするITAパージョンに読み替えてください。 また、(ITAインストール先ディレクトリ名)、(backyardサーパのホスト名)、(AnsibleサーパのIPアドレス)などの文字はインストールする環境に合わせて適宜読み替えてください。

	目的	本題 構築資材管理 メニュー作政 ホストグループ 目 Ansible Gobbler	設定	備考
ITAインストール資材展開			インストール資材展開先にITA資材vx.x.x.tar.gzを配置してください。 cd /(インストール資材展開先) ls -l vx.x.x.tar.gz ITAインストール資材を展開します。 tar -zxf vx.x.x.tar.gz シェルの権限を変更します。 find it-automation-x.x.x -type f -name *.sh xargs chmod 755 ITAインストールディレクトリを設定します。 find it-automation-x.x.x -type f xargs -ii sed -i -e "s:%%%%ITA_DIRECTORY%%%%%:/(ITAインストール先ディレクトリ):g" {}	インストール資材の展開先は、どのディレクトリでも問題ありません。 オンラインの場合は以下のコマンドで取得してください。 wget https://github.com/exastro-suite/it- automation/archive/vx.x.tar.gz
yum-utilsインストール 5 【CentOS7、RHEL7の場合】 yum-utilsをインストールする			- 以下のパッケージをインストールしてください。 yum-utils	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y yum-utils
Apacheインストール 6 Apacheをインストールする 7 Apacheの自動起動設定を行う			以下のパッケージをインストールしてください。 httpd mod_ssl systemctl enable httpd	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールする。 yum install -y httpd mod_ssl
PHPインストール 8 PHPをインストールする			以下のパッケージをインストールしてください。 php php-bcmath php-cli php-ldap php-mbstring php-mysqlnd php-pear php-pecl-zip php-process php-snmp php-xml zip telnet mailx unzip php-json php-zip php-g python3	オンラインの場合は以下のコマンドでリポジトリを有効にしてください。 【CentOS7、RHEL7の場合】 yum install -y http://rpms.remirepo.net/enterprise/remi-release-7.rpm
				yum-config-managerenable remi-php72 【CentOS8、RHEL8の場合】 リボジトリは追加無し オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y php php-bcmath php-cli php-ldap php-mbstring php-mysqlnd php-pear php-pecl-zip php-process php-snmp php-xml zip telnet mailx unzip php-json php-zip php-gd python3
9 PEARライブラリをインストールする		•	以下のPEARパッケージをインストールしてください。 HTML_AJAX-beta	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 pear install HTML_AJAX-beta
10 HTML_AJAX-betaの設定を行う			In -s /usr/share/pear-data/HTML_AJAX/js /usr/share/pear/HTML/js	
11 Spycをインストールする 12			mkdir -p /usr/share/php/spyc-master Spycパッケージを /usr/share/php/spyc-masterディレクトリにインストールしてください。	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 curl -L https://github.com/mustangostang/spyc/archive/0.6.2.tar.gz tar zxstrip-components=1 -C /usr/share/php/spyc-master
13 PhpSpreadsheetをインストールする 14			ディレクトリを作成してください。 mkdir -p /usr/share/php/vendor PhpSpreadsheetパッケージを/usr/share/php/vendorディレクトリにインストールしてください。	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 curl -sS https://getcomposer.org/installer phpinstall-dir=/usr/bin /usr/bin/composer.phar require "phpoffice/phpspreadsheet":"*"
 PHPの設定				mv vendor /usr/share/php/
15 【CentOS7、RHEL7の場合】 php.iniを設定する 16 【CentOS8、RHEL8の場合】			cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS7.x/etc/php.ini /etc/cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc/php.ini /etc/	
php.iniを設定する 17 【CentOS8、RHEL8の場合】 www.confを設定する	•		cp ¬p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_php-fpm.d/www.conf /etc/php-fpm.d/	
sudoersファイル変更 18 sudoersファイル変更			vi /etc/sudoers 以下の内容を追記してください。 daemon ALL=(ALL) NOPASSWD:ALL apache ALL=(ALL) NOPASSWD:ALL	

No. 目的	共通 構築資材管理 メニュー作成	ボストグルーフ 目 Ansible Gobbler OpenStack	設定	備考
ITAインストール 19 インストール先ディレクトリ作成			mkdir -p / (ITAインストール先ディレクトリ)	
20 ITA資材配置			cp -rp /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-contents/ita-root /(ITAインストール先ディレクトリ)/.	
21 ITA設定ファイル配置			cp -rp / (インストール資材展開先) /it-automation-x.x.x/ita install package/ITA/ita-confs / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/confs	
22 セッション用ディレクトリ作成			mkdir -m 777 / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita sessions	
23 data_relay_storageディレクトリ作成			mkdir / (ITAインストール先ディレクトリ) / data_relay_storage	
24 ITAで使用するディレクトリ作成			/(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts/list/create_dir_list.txtのファイルに記載しているパスに対して、先頭に/(ITAインストール先ディレクトリ)をつけて一行ずつディレクトリを作成してください。 mkdir -p /(ITAインストール先ディレクトリ)(ファイルに記載しているパス)	
25 権限を変更する(755)			/(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts/list/755_list.txtのファイルに記載しているパスに対して、先頭に/(インストール先・レクトリ名)をつけて一行ずつ権限を変更してください。 chmod 755 /(ITAインストール先ディレクトリ)(ファイルに記載しているパス)	
26 権限を変更する(777)	•		/ <mark>(インストール資材展開先)</mark> /it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts/list/777_list.txtのファイルに記載しているパスに対して、先頭に/(インストール先 レクトリ名)をつけて一行ずつ権限を変更してください。 chmod 777 /(ITAインストール先ディレクトリ)(ファイルに記載しているパス)	
27 ita_baseのリリースファイルを配置する			cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_base /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
28 materialのリリースファイルを配置する			cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release/	
29 material (資材紐付け管理(Ansible)) のリリースファイルを配置する ***materialとansible_driverをインストールする場合に実行してください。		•	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material2 / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release	/.
30 material (資材紐付け管理(OpenStack))のリリースファイルを配置する ※material とopenstack_driverをインストールする場合に実行してください。		•	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material3 / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release	/.
31 material (資材紐付け管理(DSC)) のリリースファイルを配置する ※materialとdsc_driverをインストールする場合に実行してください。			cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material5 / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release	/.
32 createparamのリリースファイルを配置する			cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_createparam / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita- root/libs/release/.	
33 hostgroupのリリースファイルを配置する		•	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_hostgroup /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release	2/.
34 hostgroup(ホストグループ変数化)のリリースファイルを配置する ※hostgroupとAnsible_driverをインストールする場合に実行してください。		• •	cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_hostgroup2 / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/relea cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_hostgroup3 / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/relea	
35 ansible_driverのリリースファイルを配置する		•	cp -p / (インストール資材展開先) /it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_ansible-driver / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/libs/release/.	
36 cobbler_driverのリリースファイルを配置する		•	cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_cobbler-driver / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita- root/libs/release/.	
37 openstack_driverのリリースファイルを配置する		1	cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_openstack-driver / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
38 dsc_driverのリリースファイルを配置する			cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_dsc-driver / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/releas	e/.
39 MariaDB接続情報設定			①以下の文字列をbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してください。 mysql:dbname=(ITAのDB名);host=(DBMSサーバのIPアドレス) ②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください。 /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_connection_string.txt	例: ITAのDB名が「ITA_DB」、DBMSサーバのIPアドレスが1.1.1.1の場合、以下のコマンドでbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "mysql:dbname=ITA_DB;host=1.1.1.1" base64 tr '[A-Za-z]' [N-ZA-Mn-za-m]'
40 MariaDBのユーザ情報設定	•		①MariaDBのユーザ名をbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成ください。 ②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除ください。 /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_username.txt	例: MariaDBのユーザ名が「ITA_USER」の場合、以下のコマンドでbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "ITA_USER" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
41 MariaDBのパスワード情報設定	•		①MariaDBのパスワードをbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してださい。 ②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください。 /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_password.txt	例: MariaDBのパスワードが「ITA_PASSWD」の場合、以下のコマンドでbase64 エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "ITA_PASSWD" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
42 共有を利用するディレクトリの中身を削除する			rm -rf / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/temp/* rm -rf / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/webroot/uploadfiles/*	

目的	無	構築資材管理メニュー作成	ボストグループ Ansible Qobbler	OpenStack	設定		備考
共有ディレクトリ設定 共有ディレクトリを設定する							
NATION TERRET OF					以下の様に外部ストレージの共有ディレクトリとの共有設定を行ってください。		
					Web/APサーバの共有ディレクトリ /(ITAインストール先ディレクトリ)/data_relay_storage /(任	外部ストレージの共有ディレクトリ 任意の共有用ディレクトリ)/data_relay_storage	
						E意の共有用ディレクトリ)/ita_sessions	-
						任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/temp	_
						任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles /(任	任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles	7
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets /(任	任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users /(任	壬意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets /(任	壬意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/users /(任	任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webconfs/users	
Apacheの設定							
/etc/hostsの設定	•				vi /etc/hosts		
					 以下を追記してください。(連携ドライバサーバの記載については、使用するサーバのもの		
					127.0.0.1 exastro-it-automation		
					(AnsibleサーバのIPアドレス) (Ansibleサーバのホスト名) (AnsibleTowerサーバのIPアドレス) (AnsibleTowerサーバのホスト名)		
					(CobblerサーバのIPアドレス) (Cobblerサーバのホスト名)		
【CentOS7、RHEL7の場合】 証明書の配置	•				cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_C		
【CentOS7、RHEL7の場合】	•		++	+	o -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS7.x/etc_pki_tls_certs/exastro-it-automation.key /etc/pki/tls/certs/o-p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS7.x/etc_httpd_conf.d/vhosts_exastro-it-automation.conf		
Apacheのconfファイル配置			$\perp \perp$		/etc/httpd/conf.d/	etc/httpd/conf.d/	
【CentOS8、RHEL8の場合】 証明書の配置	•				p -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_pki_tls_certs/exastro-it-automation.crt /etc/pki/tls/certs/ p -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_pki_tls_certs/exastro-it-automation.key /etc/pki/tls/certs/		
【CentOS8、RHEL8の場合】 Apacheのconfファイル配置	•				cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_httpd_conf.d/vhosts_exastro-it-automation.conf		
Apacheの再起動	•				/etc/httpd/conf.d/ systemctl restart httpd		
Gitインストール							
Gitをインストールする					以下のパッケージをインストールしてください。 git		オンラインの場合は以下のコマンドでインストールする。 yum install -y git
正常性確認							
Web起動確認	•				http://(Web/APサーバのIPアドレス)		ログインID: administrator 初期パスワード: password ※HTTPSでのアクセス方法は「HTTPSでのアクセス確認」以降を参照し ください。
Ansibleのインターフェース情報の更新			•		nsible共通]-[インターフェース情報]メニューの「ホスト」に <mark>nsibleサーバのホスト名)</mark> 入力してください。		
Ansible Towerのインターフェース情報の更新 <mark>※Ansible Towerを使用する場合に入力してください。</mark>					Ansible共通]-[インターフェース情報]メニューの「AnsibleTowerインターフェース」に AnsibleTowerサーバのホスト名) AnsibleTowerサーバ側で作成した認証トークン) を入力してください。		
Cobberサーバで作成したプロファイルが読み取れているかの確認			•	1	bbler]-[プロファイルリスト]メニューの「一覧」にCobblerサーバで作成したプロファイルの名前があることを確認してください。		
CobberサーバでOSをインストールするサーバの情報を入力する			•		[基本コンソール]-[機器一覧]メニューの「登録」でインストールするサーバーの情報を入っ	カする。	
					※入力する内容は下記を参照してください。 https://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Documents_ja/Exastro-ITA_シ・Cobbler-driver 利用手順マニュアル Cobbler-driver(11ページ)	νステム構成/環境構築ガイド_Cobbler−driver編.pdf	
HTTPSでのアクセス確認							
端末のhostsを編集する					C:\Understand		
					(Web/APサーバのIPアドレス) exastro-it-automation		
https:/		末への証明書インポートの方法は下記を参照してください。 ps://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Learn_ja/ITA-online-install_ja.pdf 動作確認(5/6)					
HTTPSでの接続確認	•		++	++	https://exastro-it-automation		
HTTPまたはHTTPSのアクセスを制限する	•	\vdash	++	++	HTTPまたはHTTPSのアクセス制限の方法は下記を参照してください。		+
					https://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Learn.ja/ITA-online-install.ja 4.7 参考	pdf	